

① 研究課題名	大腿骨近位部骨折術後患者における Hip structure analysis と身体機能や活動との関連-多施設共同後ろ向きコホート研究	
② 実施予定期間（当院）	倫理委員会承認日 ～ 2022 年 3 月	
③ 対象患者・疾患等	65 歳以上の大腿骨近位部術後骨折	
④ 対象期間（組入れ期間）	2019 年 4 月 ～ 2020 年 11 月	
⑤ 実施診療科（部門）	リハビリテーション室	
⑥ 研究責任者	所属・職名 リハビリテーション室・理学療法士	氏名 桑原 大輔
⑦ 研究全体についての概要	<p>私たちは、以前より大腿骨近位部骨折術後患者の運動機能と骨密度の関係を調査してきました。調査の結果、大腿骨近位部骨折術後患者における非骨折側の良好な片脚立位姿勢制御と骨密度の上昇に有意な関連があることが明らかになりました。しかし、骨粗鬆症の予防には、骨密度に加えて骨質からなる骨強度を上昇させる必要があるとされています。骨強度は、当院で使用されている骨密度検査機器（Dual Energy X-ray Absorptiometry : DEXA）で算出された骨密度に Hip structure analysis : HSA) を掛けることで算出することが出来ます。骨密度に加えて骨強度を評価することは、大腿骨近位部骨折術後患者の運動機能と骨粗鬆症との関連をより明確にできることが想定されます。以上のことから、本研究の目的は、大腿骨近位部骨折術後患者における身体機能および活動と骨強度との関連を調査することとします。もし、上記のことが明らかとなれば、大腿骨近位部骨折術後患者に対するリハビリテーション展開の手助けとなる可能性があり、結果として再骨折の予防等に寄与できるかもしれません。</p>	
⑧ 研究実施場所	リハビリテーション室	
⑨ 個人情報の保護について	連結可能匿名化	
⑩ 利益相反	開示すべき利益相反なし	
⑪ 問い合わせ先	担当者（研究責任者他、研究について連絡がとれる方）	
⑫ 連絡先	電話番号：0823-21-1601（代表以外の場合は変更すること）	
	FAX 番号：0823-24-5274（代表以外の場合は変更すること）	